

慈光寺

季号 58号
春第58号
平成30年3月
発行

古くから、日本人にとって

切っても切り離せない文化で有る「お彼岸」ですが、仏教用語ではサンスクリット語の「パーラミター」↓「波羅蜜多」(完成する、成就する)という意味を持ち、仏教的には欲や煩惱、苦しみの輪廻の世界から脱し、迷いのない悟りの境地に至ることを表します。

私達が普段使っているのは、その心の修行より「彼岸の法要」に目が向いているように思えます。

彼岸会の法要の歴史は平安時代の中頃と言われています。お彼岸に墓参りをするのは日本だけです。これは日本人の文化に理

由があり、元々農耕民族の日本人は仏教が伝来する前より先祖供養と自然に感謝する習慣が墓参りとながったようです。

さて、今を生きるお彼岸の日の過ごし方と言えば、決まっている訳ではありませんが、まず仏壇や仏具を清めお墓や納骨堂へお参りしましょう。普段より時間をかけて丁寧に掃除をして手入れをいたしましょう。手厚く供養するということです。そして、手を合わせ人生において大切な六波羅蜜が実践出来るか見つめ直す時間です。六つの徳「布施・持戒・精進・忍辱・禅定・智慧」
いかがでしょうか・・・

「小欲知足」欲を捨て足るを知る。

欲張ってはいけません。心が貧しくなります。人の為に生きています。ちゃんと仏様が見ています。困った事が起きて

も変化の人が現れ窮地を救われま

す。
今年が良いか悪いか。真ん中には有りません。どうぞこの記事をお読みになられた方が気づき心穏やかな一年を過ごされることを祈っています。ちなみに仏様に使うお金はぐるっと回って形を変え、自分の所へ戻ってきます。うそか誠かおためし下さい。きっと確信されるはずです。(笑)



お彼岸

お彼岸には先祖供養のお塔婆をお供えしましょう。

慈光寺では塔婆回向を申し受けております。「暑々寒々も彼岸まで」とか昔からの人はよくいったもので、厳しい冬も過ぎ日増しに日が伸びて暖かくなると「春の彼岸」がやってきます。お彼岸の一週間は、先祖を敬い、亡き人に供養を捧げると共に善根を積み、仏道に精進する大切な日々です。

仏道修行の一週間						
18日	布施	思いやりの心、奉仕する生活				
19日	持戒	決まりを守る、生活を正す				
20日	忍辱	苦しみに耐え、正しい道を開く				
21日	お中日	〔先祖供養、お題目の修行〕				
22日	精進	たゆまぬ努力、続ける心				
23日	禅定	心静かな落ち着いた心、集中する心				
24日	智慧	仏道にめざめ、正しい教えを学ぶ				

【卒塔婆供養】

お塔婆を供養される方は、お早めにお寺の方へご連絡下さい。
尚、三月七日が締め切りです。特に変更のある方は、お早めにご連絡をお願い申し上げます。

お彼岸のお経のお知らせ

今年も、三月十八日から二十四日の間にお参りさせて頂く予定です。現在ご希望させて頂いておりますご家庭には、ハガキにてお日にちをご案内させて頂きます。ご都合が悪いようでしたら、ご連絡を下さいませ。ご相談させて頂きます。尚、時間につきましては、前後することも有ります。ご都合が有る方は時間約束を必ずお知らせ下さい。又、今年からお参りをご希望されるご家庭がございましたら、お寺の方へご連絡くださいませ。よろしくお祈りいたします。

☆合同供養

三月二十四日(土曜日)
午前十一時より

お寺で供養をご希望の方は合同供養を致します。他の日時をご希望の方はご相談下さい。個別の法要もお受けしています。

TEL 082-271-4665
FAX 082-275-2216
慈光寺

【除夜の鐘リレーの報告】

おかげさまで無事に円成することが出来ました。はじめの除夜の鐘リレー約二百名の方がご参拝いただきました。午前一時終了。地域の皆様からの苦情もなく感謝の気持ちで一杯です。

皆様からお預かりした浄財を有効に使わせて頂きました。石版も完成しております。(現在最終工事中です) 全て終わりましたら決算報告をさせて頂きます。もうしばらくお待ち下さい。尚、浄財は現在も受け付けております。ご寄付をいただいた方はお名前を刻ませていただきます。ご協力をよろしくお祈り致します。



◆春季彼岸大法要

平成三十年三月二十一日(水・祝)

午後二時始め

・法話

壽徳寺

住職 田中良明 師

「大練忌(四十九日忌)のお話」

・法要

【出仕】

導師

住職 新田恭慈

壽徳寺

住職 田中良明上人

願徳寺

住職 山口慈明上人

・卒塔婆供養

・米寿の御祝

今年三十年に米寿を迎える方

(昭和五年生まれ)

是非お参り下さい。

お祝いのお心を込めて記念品と共に

お祝いします。

みんなでお祝します。お楽しみに!



◆花まつり

平成三十年四月八日(日)

午後二時より

お釈迦様に報恩感謝の気持ちを込めてお経をあげさせて頂きます。今年準備が整わず残念ながら縁結びの会は開催を見送ります。夏までには細やかな企画をして募集します。良いご縁をお探しの方ご応募をお願いします。

尚、当日 自分でつくるお守りづくりをします。

ご参加希望の方お電話でお申し込み下さい。参加費500円(お菓子お茶付き)どなたでもお参りできます。



TEL 082-271-4665

慈光寺

【平成三十年新春祝祷会】

一月十五日(月)

妙見様の沢山のご信者様と祈る

十時、十一時、三時、四時、五時

参拝の皆様と共にゆっくり話をして

笑い一杯の妙見祭でした。次回は五月です。

【新春妙見宮大祭】

一月元旦・二日・三日

「新しい年は当山より」の合言葉で本年も沢山の方がお参り下さいました。妙見様の沢山の徳をいただき、幸せな一年でありますよう皆様で手を合わせました。

【節分星祭】

二月三日(土)

福は内、福は内
今年は大抽選会をしました。自転車が一等。なんと毎月お参りされている落合さんのご息が大当たり。ご結婚し子供も生まれて大当たり。良いこと一杯です。おめでとございます。

行事案内

お願い

檀家さんで今年満八十八歳を

お迎えになる方

お寺の方へご連絡をお願いします

お知らせ

本堂、地下座敷の使用料についてご質問を頂きました。

檀信徒（護持会費）をお納めの方については、葬儀の場合は一泊二日で光熱費五万円とシーツなどのクリーニング代をお供え下さい。法事の場合は特別なお供はいりません。地下をお食事に使われる場合も同様です。

その他の方々の場合は、使用料として一泊二日で十万円のお供とクリーニング代などの実費をお願いいたします。

地下の座敷を法事以外でお使いの場合は、時間にもよりますが、檀信徒の場合は光熱費のみ、その他の方はご相談ののりませす。

どうぞお声をおかけ下さい。
よろしくお祈りいたします。

合掌



ご報告

・水場の花切りハサミが紛失しますので、お寺の玄関の中に有ります。お使いの方はお声をおかけ下さい。

・網岡健三様より花ハサミ二本を寄贈して頂きました。感謝

・難波様 いつも納骨堂へお供やお菓子を有難うございます。

・総代 世話人 たちばな会の皆様 いつもご協力ありがとうございます。

住職からお願い

この度、日蓮宗より降誕八〇〇年記念事業「宗門子弟育成PT」のメンバーに推薦され辞令を頂きました。東京出張が増え月回向の変更が有ると思いますが、どうぞご協力をよろしくお願い致します。

募集

★墓地・納骨堂・慈しみの墓を求めておられる方、ご相談に応じます。

★月回向ご希望の方で時間が取れないとあきらめておられる方、お寺での供養を受け付けています。お電話頂ければご来寺の際に回向申し上げます。

水場の使用について

環境整備にご協力ください。

☆水場の使用の整理整頓をお願いいたします。

☆バイク、自転車の乗り入れは、境内セメントのところへお止めください。

☆花のゴミはなるべく小さくして袋へお入れください。よろしくお祈り致します。

☆飲み物や食品のお供はお墓にお供えされた後、必ずお持ち帰り下さい。

お墓のことは

お墓の建替え、修繕・墓石のご相談は

・杉田石材店様（草津慈光寺より百石先

事務所 電話082-271-0726

・今田石材様

西区中広町 丁目 千九一

事務所 電話082-23271813

お仏壇のことは

仏壇・仏具・修理などのご相談は

・吉野ふたば店様

安芸郡府中町大通 丁目 十四一六

電話082-282-1543

・二世仏壇様（平安祭典観音）

広島市西区南観音 丁目 三十五

電話082-297-6127



普門山

慈光寺

〒733-0861

広島県広島市西区草津東3丁目7-25

TEL: 082-271-4665 H P: <http://www.jikouji.com>

FAX: 082-275-2216 mail: info@jikouji.com